

人生ハンド仏句

第41号

H. 17. 8. 1
(毎月1日発行)

お盆の心

住職 谷川寛俊

今年も暑い夏と共にお盆の季節になりました。お盆は一年一度、ご先祖様が、なつかしいわが家に帰って来る日です。お盆は数ある仏教行事の中でも最も大きな行事です。

なにしろ「盆休み」といって、日本中が休みに成ってしまうほどですからネ。

お盆と言う言葉はどこから来たのでしょうか。この盆と言う言葉は、もともとは日本語ではありません。

漢字ですが中国語でもありません。お盆の正式な名称は「盂蘭盆会」です。「うらぼん」と読みます。

語源は昔のインドの言葉のウランバナといい、これを漢字に当てはめたのが、「盂蘭盆」であり、略して「お盆」となったのです。

ウランバナは「倒懸(とうけん)」と訳し、意味はさかさまに吊り下げられた苦しみです。そのような苦しみを受けている亡き人を救う為の供養が「盂蘭盆会」なのです。又、盆には器と言う意味もあります。

その器は、お盆に帰って来るご先祖さまに供える物をのせる器であったといえます。それが「盂蘭盆」の盆と混じりあったのではないかと言われています。

一口にお盆といっても時期は様々です。一般的には、七月十三日～十六日、又、八月十三日～十六日までです。その他にも盆の始まりを一日とするところや、七日とするところもあるようです。

昔は、「七夕」も「七日期」とい

編集・発行
玉蓮山 真成 寺
編集部
TEL・FAX (0765)22-2268
メールアドレス
kokorochanthk@ybb.ne.jp
ホームページアドレス
<http://www.geocities.jp/sinjyoujitoiyama108/>

っていました。日本ではお盆の行事は古くから営まれてきました。歴史を見ると飛鳥時代に齊明天皇が「盂蘭盆会」の法要を営んだ、という記録があり、天平五年(七三三年)には公式の年中行事となり、その後平成の今日まで連綿として続いているゆかしい行事なのです。お盆の行事が一般庶民に広まったのは江戸時代になってからとされています。いずれにせよ長い歴史の中で、私たちのご先祖を尊び、うやまう気持ちを忘れずに伝えて行く事が大切で、まもなく訪れるご先祖様を丁寧にお迎えしましょう！



父母の背を流せしごとく 墓洗う

